

世界との対話 ① (全五回)

手紙の書き方の基本

講師

幸田国広

■今回の学習3項目

- ① 伝統的な手紙の形式
② 実際に手紙文を書く
③ 封筒・はがきの書き方

伝統的な手紙の形式

手紙の形式は、一般に前文・主文・末文・副文の四部からなる。

前文には「拝啓」や「前略」などの頭語、時候のあいさつ、先方の安否等を述べる。頭語の後、時候のあいさつをし、先方の安否を問う(または発展や活躍を喜ぶ)形でまとめる。

主文は、手紙の本題の部分のこと。「さて」や「つきましては」などの用語をつけて書き始めるとわかりやすい。ただし、主文は簡潔にまとめる。いろいろな事柄を伝えたいときは、別起の形にして手紙のあとの方にまとめるとすっきりする。

末文は、締めくくりのあいさつ。相手の健康を祈り、今後の一層の指導や引き立てを願う気持ちを述

べ、結語を置く。「右、お願いまで……」とか「まずは……まで」のような言い方で締めくくると、一層けじめがつく。

実際に手紙文を書く

拝啓 寒さもいよいよ身にしみる今日この頃ですが、皆さまお元気で過ごさしのことと存じます。私も四月からの就職に備えて充実した毎日を送っております。

さて、このたび左記の場所に転居いたしました。通勤に便利なのにと考え、はじめての一人暮らしを決意いたしました。周囲には、まだ畑や林が残っており、自然の空気だけはたっぷりです。ハイキングなどにもびったりの場所です、休日の過ごし方を考えるのも楽しみの一つです。近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

時節柄、皆さまのご健康をお祈り申し上げます。
まずは、右お知らせがたがたご挨拶まで申し上げます。

平成二十四年二月四日

藤森祐治様

幸田国広

敬具

封筒・はがきの書き方

封筒自体は、一般的に白い二重封筒を使う。

表書きの注意。文字は楷書で正しく書く。右側に住所を書き、あて名は中央に、住所より一、二字下げやや大きめに書く。住所が長くて一行に収まらない場合には、ひとまとまりの地名や番地が二行に別れないように改行し、二行目は一行目よりも少し下げて書く。様や先生などの敬称はあて名よりもさらに少しだけ大きめに書く。会社や役所などがあて名の場合は御中とする。

裏書きの注意。封筒の裏には差出人の住所と氏名を書く。住所を半分よりやや左に記し、氏名をその左側に少し大きめに書くといよい。

Vertical dashed lines for writing practice.

世界との対話 ② (全五回)

手紙の面白さと可能性

講師 幸田 国広

■今回の学習3項目

- ① 「日本一短い手紙」の面白さ
- ② 絵手紙のおもしろさ
- ③ メディアとしての手紙の可能性

「日本一短い手紙」の面白さ

福井県丸岡町が平成五年から十四年まで募集したのが一筆啓上賞、「日本一短い手紙」シリーズ。「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」のお仙が後の丸岡城主となったことから、そのゆかりの地として誕生した一筆啓上賞は、十年間で八十三万通の作品が寄せられた。

▼平成九年の「日本一短い父への手紙」で入賞した奈良県大林さんの作品

「お父さん お父さんがねると、かいじゅうができてきて ほくねむれないよ。」

▼平成十年の「日本一短い母への思い」で入賞した愛知県林さんの作品

「雪の降る中、校門をくぐるお母さん。僕ははじ

めて悪いことをしたと思いました。」

絵手紙のおもしろさ

ことばと絵から成り立つ絵手紙は、それらの有機的関連が重要である。

躍動感あふれる手書きのイラストが送り手のメッセージを巧みに演出している。

一方、メッセージを伝えることば＝文字も、ここでは絵の中に溶け込んで、絵と文字とが一体となって全体の雰囲気醸し出されている。字体や筆記具についてもよく吟味し、ことばと絵とが一体化したときの表現効果を考えよう。

メディアとしての手紙の可能性

手紙は、古今東西の文学作品、特に小説の中でよく使われてきた。いわゆる書簡体小説もあれば小説の仕掛け・道具立てに手紙がうまく使われているものなどたくさんある。

「放送で紹介した作品」

- 大宰治の短編「葉校と魔笛」
- ジャック・フィニーの短編「愛の手紙」

「ゲイルズバーグの春を愛す」

(ハヤカワ文庫)より